

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	36110	電話	042-769-8200
担当部課名	企画部	広聴広報	課	広報 班
事務事業名	SEE相模原			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	高度情報化への対応を図ります	事業開始年度
基本施策名	第1節	豊かな市民生活を実現する情報化の推進	3年度
施策名	第1施策	情報通信メディアを活用した行政サービスの推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--	--	--	--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
本市の人・街・自然など、魅力や特徴をビジュアルに紹介し、相模原らしさを発信する。15年度は掲載記事の内容や配付先などを再検討し、経費を減額する。	市内金融機関、理・美容室、書店などで閲覧に供するほか、公共施設で配付。県内市町村や視察
	対象数 40,000部
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
2回発行(10月・3月)、10月は市民とのパートナーシップをテーマに市民活動サポートセンターやNPOの活動を特集で取り上げ、市民との協働のまちづくりを発信した。3月は市消防本部の救命・救急活動を特集で取り上げ、地域消防団から国際消防救助隊の活動まで、連携して安心して暮らせるまちづくりの推進についてをテーマとした。また、ボランティアサークルを紹介し、市民同士のサポートの様子なども積極的に紹介した。業者委託で撮影から印刷、配送まで行ったが、撮影現場や取材関係者との調整は市が行った。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	配付部数率	配付部数 / 作成部数 38000 / 40000 × 100 = 95% なお残部についても引き続き視察者等に配付	作成した冊子を有効に活用したかを表す	91	91	95	97	97

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	3人・33時間	3人・33時間	3人・33時間	3人・26時間	3人・26時間
	人件費	412	412	412	325	325
	その他経費					
	合計	10,408	10,198	10,198	5,325	5,325
	特定財源					
	対象数	40,000	40,000	40,000	20,000	20,000
	対象の単位あたり経費	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	市民や企業、自営業者などさらに幅広く紹介するなどして、市民とのパートナーシップを進めるような内容にすることが必要。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 市の現状や出来事、環境、魅力など広く情報発信することは必要である。取り扱うテーマがビデオ広報などと重複することもあり活用方法や掲載する題材の選び方を検討する。
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	配付先について、作成部数が少ない中ではあるが、他市や市内企業等への配付など配付先の拡大を図り、1冊あたりの閲覧者数を増やす工夫をしたい。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 作成部数が少ないので単価が高い。市のホームページで、本誌のような写真を多様したものも発信できると効果があがる。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	部数が少なく、単価が高いため、配付方法・内容について検討する。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 発信方法や掲載内容を検討する余地 将来的には民間の広告も考える余地がある。 市民参画の余地	手段	15年度は配付先を見直し、発行部数を前年度までの1/2に削減するとともに、頁数も減らせるよう、掲載内容を検討する。 また、取材の同行をなるべく減らせるよう検討する。
		削減額	4,800 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 類似事業は少ない。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 内容が若干マンネリ化し、新鮮味が感じられなくなっているため、内容を再検討し、紙面作り等にも市民参加を取り入れていく。また、発行部数が限定されているため、配布先を検討する必要がある。さらに、民間の広告掲載による広告収入についても検討する(規定等の制定が必要)。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

NPO等の活用と広告収入について検討すること
